

# 中学生のための料理教室



2つの中学校の生徒と一緒に調理しています

を育てるために、南部町教育振興会と健康福祉課が連携をして実施したものです。

当日は、法勝寺中学校の生徒8人、南部中学校の生徒12人の合計20人が永井管理栄養士や近藤食育支援室長の指導により、4班に分かれて料理を作りました。まずは栄養バランスを考え献立づくりに挑戦し、楽しく交流しながら朝食にも昼食にもなりそうな5品を作り、完成品を試食しました。

簡単でおいしいメニューだったので、ぜひ家庭でも作ってみてほしいと思います。

当日作った料理の作り方は、南部町教育委員会のホームページ（「朝食を必ず食べよう」キャンペーンコーナー）に掲載していますのでご覧ください。

「朝食を必ず食べようキャンペーン」の一環として、1月26日に中学生対象の料理教室を健康管理センターすこやかで開催しました。これは、昨年度に行った朝食アンケートをふまえ、「自分で自分の食事が作れる中学生」さらには「家族の簡単な食事が作れる中学生」

<http://www.town.nambu.tottori.jp/>

# フルコンタクトと学ぶ新エネルギー

1月17日、お笑い芸人「フルコンタクト」が博士やカップパに扮して、子ども達に新エネルギーの大切さを伝える「新エネルギー教室」（主催：資源エネルギー庁など）がプラザ西伯と会見小学校体育館を会場にして開かれました。

西伯小学校の5年生、会見小学校の4・5・6年生、会見第二小学校の5・6年生の計111人が参加し、生の漫才にふれながら楽しく学習をしました。



地域の方にもお世話になりました  
(会見小学校)

石油・石炭・天然ガスには限りがあり、今のように石油を使っていると、後41年で世界中から石油がなくなります。そこで、太陽熱・使用済み食用油・家畜の糞尿など、現在いろいろな新エネルギーが開発されていることが紹介されました。また、子ども達が風力発電でおこした電気を利用した自動車レースもありました。

博士から「家に帰ってから、学習したことを家の人に必ず伝える」という宿題が出されましたが、うまく伝わったでしょうか。



カップパに大喜びの子ども達(西伯小学校)